

ファミリー・カウンセラーがアドバイス

家庭の悩み話

してみませんか

子どもにかかわる悩みこと 子育ての不安

Q 一歳八か月の女兒がいます。近所で年の近い子のおむつが取れた話を耳にし、わたしも、この夏こそおむつを取ろうと決心しました。ところが、トレーニングを始めたのですがうまくいきません。そのうちに、どもるようになりました。どうしたらいいのでしょうか。

時期がくればうまくいく ゆったりと構えよう

A 二歳前後の子どもは、片言を話し初めてかわいらしくなるころですが、このころ多くの親はおむつを取ることに悩まされるようです。

とりわけ、初めての子の場合、育児書どおりにトレーニングをしようとして、思いどおりにいかないことがあります。ころあいを見計らってトイレに座らせて

もそっくり返って嫌がり、下に降ろした途端に漏らすこともあります。たび重なるうちにあせり、いらいらして、つい叱ってしまします。感じやすい子どもは、どもりの症状が出ることもあります。

そのようなときは、いったんトレーニングをやめましょう。この夏こそ思い込み過ぎず、「来年でもい



いわ」と思うのです。時期がくれば、必ずうまくいくようになりまますから、ゆったりと構えることが大切です。

どもりのほうは、気になってもなるべく気にしないようにしましょう。言葉をいちいち直したりしないで、静かに見守ってください。すぐに治らなくてもあせらないことです。二、三か月、時にはそれ以上かかることもあります。親の落ち着いた対応で、いつの間にか治りますよ。

(カウンセラー・石井美年)

健康だより



がん予防電話相談室開設

岩手県対がん協会では、広く一般県民を対象に、がん予防の一般知識などについての相談窓口として、次のとおり無料で電話相談を実施します。

開設日時：毎週火曜日10時～16時
(ただし、年末・年始や祝祭日は除かれます)

電話番号：019 637 5191

内容：
 がん予防の日常生活について
 がん検診やがん発見について
 がんの一般知識について
 問い合わせ先：財団法人岩手県対がん協会・保険課（019 637 5191）

お母さん、一人で悩まないで！

村では、岩手県（実施主体・久慈保健所）の支援を受け平成9年度、「小規模町村保健活動支援事業（3年間継続事業）」に取り組んできました。この事業は、保健婦の活動を支援し、地域住民のニーズ（求め）に対応した地域保健対策の円滑な推進を図ることを目的に設置されたものです。対象町村として普代村が選ばれ事業実施してきました。

子育てサークルも、事業の中の一つの活動で「子育て自主グループ」の機運を高めるためなどに開設されたものです。そのかいあって平成10年度13人のメンバーで「カンガルークラブ」（太田慶子代表）が結成されました。

少子化の時代にあって、子供同士遊ばせることができ、お母さんたちも気軽に悩みなど相談できるホットなグループの誕生です。興味のある方、大歓迎します。

詳しいことは、下記に問い合わせください。

問い合わせ先...普代村保健センター 35 - 2211
(金子保健婦までどうぞ)